

## 函館合同支部の4分会が春闘要求書提出 賃上げ2万円/夏季一時金50万円

函館合同支部の昭和運輸分会（2月28日）、東洋実業分会（3月2日）、月寒運輸分会（3月6日）、函館小型運送分会（3月7日）が「2018年春闘要求書」を提出しました。支部の統一要求は、賃上げ＝月額平均20,000円/日給労働者は日額1,250円以上/時間給労働者は時間額150円以上、最低賃金＝月額177,500円/日額8,500円/時間額1,100円（年齢別最低賃金は30歳・勤続5年以上は月額235,000円/45歳・勤続10年以上は月額365,000円）、夏季一時金＝平均50万円（雇用延長・嘱託労働者は35万円）、越冬手当＝世帯主1800円/準世帯主1100円/独身者800円＋一律2万円などです。また、雇用保障と労働時間短縮、休暇制度などの改善、雇用確保と退職給付、安全・安心な職場づくり、職場の権利保障・福利・厚生、防災対策などの要求をまとめています。

さらに、昭和運輸分会は「個人償却制度」問題や「振替休日」問題、東洋実業分会は「基本給の抜本的改善」「家族手当・住宅手当」、月寒運輸分会は「長期にわたる賃下げ分の解消」「有給休暇取得の際の賃金」「公休日の勤務にあたって事前の振替休日・代休」、函館小型運送分会は「長距離便労働者の待遇改善」「家畜車の運行本数の保障」など各分会の独自要求も提出しました。

**各職場組織の春闘要求書のコピーを道本部に送ってください  
春闘の回答状況についての報告もお願いします**

### 北海道トラック部会道南地協が総会

北海道トラック部会道南地方協議会の年次総会が2月25日に開催されました。総会では佐藤達雄議長、中村師仁事務局長を再選し、副議長は函館運送支部から、幹事を函館合同支部の各分会から選出することを確認しました。

## 原発事故から7年 フクシマを忘れない！ さようなら原発北海道集會に700人

3月11日、札幌で「原発事故から7年/フクシマを忘れない！さようなら原発北海道集會」が開かれ、会場の「かでのホール」からあふれる700人が参加しました。集會では北大名誉教授の小野有五さんが「泊原発 再稼働してはいけない8つの理由」と題して講演し、北海道の電力は余っていること、原発のコストは高いこと、泊原発の敷地内には活断層があることなどを明らかにしました。道生協連会長理事の麻田信二さんは「北海道には脱原発・自然エネルギーに転換する条例がある」と述べ、いまでも5万人近くが避難生活を強いられている福島からかけつけた野木茂雄さんは「国会に原発ゼロ基本法案が提出された」と運動をさらに広げようと訴えました。参加者全員で「自然と共に生きるなら原子力なんて必要ない」「STOP再稼働」のボードを掲げて決意を示し、集會後は市内をデモパレードしました。